

諷諭

切支丹并邪宗門之儀。分先須肥前の長崎。近在浦上村と云所。彼邪種堂あり。夫を重堂と建立し。檀手腹を廻りし。邪宗門と弘光。終より近村に愚人をも人備し道と忘る。く人数邪教小漏入たり。

御國制を破り。已る才。相成死罪下し。處由親子兄弟。夫婦中。生離まじり。妻兒悪くても。思ひ魚菜の教小。して悲歎。又格ふ。依次才たるを。然るを今後。

大政御一新の初。切支丹宗門に依り。是迄布制禁え。通國相守へ。参事。ま。邪宗門に依り。園禁止し。事。よ。御高れも。首にけ。頂西夷邪教の者。大表。大。医者。眼療。汁。灸。呪。者。の。姿。變。或。は。た。お。お。の。賣。人。又。回。四。條。行。者。ま。

身をやほし。諸方。同者。入。来。り。依。り。中。飯。又。は。張。宿。お。て。そ。人。氣。と。考。へ。病。人。と。見。て。い。茶。と。与。へ。貧。人。と。見。て。い。々。金。後。と。統。一。或。は。邪。淫。の。密。計。を。教。へ。又。は。親。子。死。別。の。愁。傷。の。人。家。に。立。入。妖。術。と。顯。し。昂。効。と。見。せ。て。愚。人。と。惑。す。い。是。全。邪。道。に。入。る。貴。法。術。計。な。り。因。茲。右。件。者。来。り。し。竹。皮。と。中。掛。し。い。とも。必。く。と。り。何。へ。む。

皇國の御法令を。神明を敬い。朝廷を尊し。人備し。道と正ふ。一。て。邪教より。入ら。ま。さ。ふ。常。く。篤。く。心。得。並。魚。菜。事。

青志何某施板

日本のおはれを。おめで。と。い。ふ。に。も。う。は。心。け。の。志。海。ぞ。